

前期と後期で異なった文学教材を使用したク
ラスでのアンケート調査の報告と分析ー協働
学習とパーシングの効果度及びテキストの
面白さと難易度を中心にー

森永 弘司(同志社大学)

日本英語教育学会第47回年次研究集会

早稲田大学 2017/3/5

発表目次

1. 現在に至るまでの文学教材に関する調査の概要
2. 参加者
3. 使用したテキスト
4. 授業方法
5. 授業ジャーナル
6. アンケート項目
7. アンケート結果
8. アンケート結果についての考察
9. まとめ
10. 引用文献

1. 現在に至るまでの文学教材に関する調査の概要

(1)リーディング教材に関するニーズに関して
関西地区の3つの私立大学での読みたいと思
う題材に関するアンケート調査での結果

①A大学での理系学部の参加者459名を対象
にした調査

56%の参加者が文学作品を読みたいと答えて
いた.

②B大学での文系学部の参加者235名を対象にした調査

67%の参加者が文学作品を読みたいと答えていた.

③C女子大学での文系・理系学部の参加者205名を対象にした調査

81%の参加者が文学作品を読みたいと答えていた.

(2) 文学作品と教養の関係を調べるアンケート調査

参加者87名に次の2つの質問に回答してもらった。

1. 「文学作品が教養を高める上で効果のある教材かどうか」
2. 「文学作品を大学で教える意義があるかどうか」

	質問1	質問2
「そう思う」	58	52
「強くそう思う」	20	19
「よくわからない」	8	14
「そう思わない」	1	2
「全くそうない」	0	0

9割近い学生が文学作品を教養を高める上で効果ある教材だと考えており,8割弱の学生が大学の英語の授業で文学作品を教えることが意義のあることだと認めていることが判明した.

(3) 文学作品の英語力向上の効果

語彙力測定としてNation's Vocabulary Levels Test 文法力測定テストとして Standard Grammar Test of the 7th version 英語総合力測定テストとして C-testを受講生80名に第1週目と第14或いは第15週目に受験させ、英語力の増減の検証をここみた。

Vocabulary Levels Test

+409語

Standard Grammar Test of the 7th version

(60点満点)

+1点

C-test (100点満点)

+6点

参加者の英語力は中位の上級者である. 従って英語力下位の学生に比べると点数は伸びにくい傾向にある. 従って読解力と非常に相関性の強い語彙力 ($r = .7 \sim .9$) が409語伸びていることは注目される. またTOEICやTOEFLのような英語の総合力を測定するCテストでも100点満点で6点の伸びがみられた.

1. 小説は学生のリーディングのモチベーションを高める上で有効な教材といえる.

2. 文学作品(主として古典的作品)は教養を高める上で効果があり, 授業で読みたいと考えている学生が多数いる.

3. 文学作品は英語力を伸ばす上でも効果のある教材といえる.

2. 参加者

参加者は京都市内にある私立D大学の文学部で真宗学, 仏教学, 哲学, 教育学, 臨床心理学, 日本史, 東洋史, 仏教史, 日本文学及び英文学を専攻する30名である.

3. 使用したテキスト

前期に使用したテキストは

“Dahl, Dahl, Dahl!: Reading Funny Tales from *Boy*” 『100倍楽しむめるダールの物語』 森永弘司編著 松柏社(2014)であり

後期に使用したテキストは

Pete Hamill’s Best Stories: *From The Invisible City: A New York Sketchbook and “Going Home”* 『100倍楽しむめるピート・ハミルの物語』 森永弘司編著 松柏社(2016)である。

4. 授業方法

前期の授業では名簿の順番に参加者の席を指定し、平均して4名からなるグループを担当者が決定した。後期の授業では籤によって参加者の席を決め、前期同様平均4名から構成されるグループを担当者が決定した。その後でグループ内で協議してグループの代表を選出させた。

授業の最初の30分は,担当者がパーシングメソッドにもとづく精読法を習得させるために執筆したHintの説明をおこなった.その後でMatching Words and Phrases, Understanding the Passage, Translating into English, Discussions及びHintの問題から構成されるExerciseの解答作業をおこなわせた. 解答作業の際に, 解答用紙と同時に授業ジャーナルを配布し, 問題の解答と同時にジャーナルの提出も義務づけた

5. 授業ジャーナル

ジャーナルは以下の5つの項目から構成されている。

1. 各メンバーの役割分担を具体的(氏名を書いて)に記述して下さい。
2. 各メンバーの 役割の達成率(%か割合)を書いて下さい。
3. 今回の問題で(100 点満点で)何点くらいの得点が期待できますか？

4. 今回の問題で解答に一番苦労した問題は、
或いはメンバーの間で解答が最も異なった問題
を書いて下さい。

5. 作品の中で上手く意味が読み取れなかった
文があれば書いて下さい。また担当者に説明し
て欲しい文があれば書いて下さい。(記述がな
い場合、全員が正確に文章の読解ができたと思
なしますので)

6. アンケート項目

質問事項と回答は以下の通りである.

1. こうしたグループでおこなう協同学習に関してどうおもいますか？

①とてもいい ②少しはいい ③どちらともいえない
④あまりいいと思わない ⑤よくない

2. 協同学習は楽しかったですか？

①とても楽しかった ②まあまあ楽しかった
③どちらともいえない ④あまり楽しくなかった
⑤楽しくなかった

3. 解答作業に集中できましたか？

①とても集中できた ②かなり集中できた

③どちらともいえない ④あまり集中できなかった
⑤集中できなかった

4. 教え合うことによって、自信がつけましたか？

①かなりついた ②少しはついた ③どちらとも
いえない ④あまりつかなかった ⑤つかなか
った

5. 他者を理解することの大切さがわかりましたか？

- ①とてもよくわかった
- ②ある程度わかった
- ③どちらともいえない
- ④あまりわからない
- ⑤わからない

6. 自分で学習することの大切さがわかりましたか？

- ①とてもよくわかった
- ②ある程度わかった
- ③どちらともいえない
- ④あまりわからない
- ⑤わからない

7. 教え合うことによって、より深く英語を学ぶことができましたか？

- ①かなりできたと思う
- ②少しはできた
- ③どちらともいえない
- ④あまりできなかった
- ⑤できなかった

8. コミュニケーション能力は高まりましたか？

- ①かなり高まった
- ②少しは高まった
- ③どちらともいえない
- ④あまり高まらなかった
- ⑤高まらなかった

9. パーシングの解説と問題を解くことで文法力が向上したと思いますか？

- ①かなり向上した ②少しは向上した
- ③どちらともいえない ④あまり向上しなかった
- ⑤向上しなかった

10. パーシングの解説と問題を解くことで精読力が向上したと思いますか？（予稿集に抜けています）

- ①かなり向上した ②少しは向上した
- ③どちらともいえない ④あまり向上しなかった
- ⑤向上しなかった

11. パーシングは精読力を養う上で有効な方法だと思えますか？

- ①強く思う ②少しは思う ③どちらともいえない ④あまり思わない ⑤思わない

12. このテキストに収録した文学作品の内容は面白かったですか？

- ①とても面白かった ②少しは面白かった
③どちらともいえない ④あまり面白くなかった
⑤面白くなかった

13. このテキストに収録した文学作品の難易度に関してどう思われますか？

- ①易しい ②少し易しい ③適度である
④少し難しい ⑤難しい

7. 前期ダールのテキストを使用した際のアンケート調査の結果 N=28(括弧内の数値は%に換算したもの)

アンケート評価番号 アンケート番号	1	2	3	4	5
1	39	39	18	4	0
2	36	39	21	4	0
3	25	32	39	4	0
4	21	29	36	10	4
5	36	28	25	4	7
6	36	50	14	0	0

7	25	39	25	7	4
8	21	43	25	7	4
9	22	43	21	14	0
10	25	36	28	11	0
11	32	32	36	0	0
12	29	43	14	7	7
13	14	11	43	32	0

7. 後期ハミルのテキストを使用した際のアンケート調査の結果 N=30(括弧内の数値は%に換算したもの)

アンケート評価番号 アンケート番号	1	2	3	4	5
1	40	43	10	7	0
2	40	34	23	3	0
3	30	37	26	7	0
4	27	37	23	10	3
5	33	33	20	7	7
6	37	50	10	0	5

7	27	37	20	10	6
8	27	33	17	20	3
9	27	33	20	20	0
10	33	37	17	13	0
11	23	40	30	7	0
12	30	33	20	17	0
13	17	7	36	37	3

7. 後期のテキスト使用しておこなった授業で伸びが見られた質問項目は赤で、減少が見られた項目は緑で表記した

	1	2	3	4	5
1	1	4	8	3	0
2	4	5	2	1	0
3	5	5	13	3	0
4	6	8	13	0	1
5	3	5	5	3	0
6	1	0	4	0	0

7	2	2	5	3	2
8	6	10	8	13	1
9	5	10	1	6	0
10	8	1	11	2	0
11	9	8	6	7	0
12	1	10	6	10	7
13	3	4	7	5	3

8. アンケート結果についての考察(主として後期に伸びが見られたアンケート項目に対して言及する)

1の「協働学習」(前期78%,後期83%)に関しては前期・後期共に肯定的な評価が多く,後期に数値が5%伸びていることから考えて,参加者がこの授業方法を有効度の高いものと認識していると考えられる.2の「協働学習の楽しさ」(前期75%,後期74%)に関しては,後期の数値が1%減少しているが、「協働学習」を肯定的に評価した参加者の大半が協働学習に楽しみを見出したと推察される.

3の「解答作業の集中度」(前期57%,後期67%),4の「教えることによる自信の増加」(前期50%,後期64%)に関してはかなりの伸びがみられた. 6の「自律的な学習の重要性」(前期86%,後期87%)は前期・後期共に高い数値を示しており,協働学習が自律的な学習の重要性を認識させる上で非常に効果のある授業方法であることが分かる.

10の「パーシングの解説と問題の解答による精読力の向上」(前期61%,後期70%)に関しても伸びがみられ、7割の学生に対してパーシングメソッドによる精読法が有効であることが判明した.12の「テキストに収録した作品の面白さ」(前期72%,後期63%)で前期に使用したダールの作品に軍配が上がった.13の「テキストに収録した作品の難易度」では「易しい」、「やや易しい」、「適度である」の数値の合計が,ダール68%,ハミル60%であったので,こちらもダールに軍配が上がった.

9. まとめ

まとめとして、今後の課題について述べさせていただきます。

1. テキストに収録したExercise以外にもいろいろなタスクを導入し、授業時の学生の集中度を高める。
2. Hintの解説の改良と授業時の説明のわかり易さの工夫
3. 面白くかつ読みやすい文学教材の開発

10. 引用文献

森永弘司(2011)「精読法授業の開講の必要性—教養課程での必修及び選択の授業での精読法授業の試み」『同志社大学教育開発センター年報』第2号pp.49-61
同志社大学教育開発センター

森永弘司(2011)“The Necessity of Establishing Intensive Reading Classes in University English Curricula and the Effectiveness of Minai’s Parsing Method as a Tool of Acquiring Intensive Reading Ability”

関西外国語大学「英語キャリア学部」開設記念フォーラム「英語教育の新地平—言語,文学および教育」(関西外国語大学)

森永弘司(2013)“Consideration of the Literary Texts from the Three Viewpoints: Heightening Students’ Motivations to Read, Enhancing their Culture and Improving their English Proficiency” 4th Liberlit Conference” (明治学院大学)

森永弘司編著(2014) Dahl, Dahl, Dahl!: Reading Funny Tales from *Boy* 東京: 松柏社

森永弘司編著(2016) Pete Hamill’s Best Stories: From The Invisible City: A New York Sketchbook and “Going Home” 東京: 松柏社

ご清聴いただき有難うございます。